

平成18年4月 試験研究業務月報



受精卵移植により生まれた5頭の優良牛の兄弟子牛たち

課題名 受精卵採取と早期受胎を組み合わせた技術の追求

要 旨

優良肉用牛の効率的活用を進めるため、7頭から分娩後55日目と83日目に受精卵採取をしたところ、平均21個の正常胚が採取でき、また、採取後15日目の人工授精で5頭を早期受胎させることができました。受精卵採取技術の活用により優良な肉用子牛の兄弟を同時に生産でき、改良が飛躍的に進みます。

京都府畜産技術センター
(碓高原牧場)